



いわきの緑石(ヒスイ)で作った帯止め、円内はその原石

尊真・井出一保

いわきの緑石(ヒスイ)

この緑石(ヒスイ)は、岩手県の北東部に位置するいわき市で産出される。この地域は古くから石工の技術が高く、多くの石工がこの石を用いて石碑や石像などの彫刻作品を作り出している。また、この石は硬度が高く、耐久性があるため、建築材料としても広く使用されている。この緑石(ヒスイ)は、その美しい緑色と緻密な質感で、多くの人々に愛される石である。

あけましておめでとうございます

お名前を記入してお届けする
お歳暮「答謝を兼ねたお祝い品」は
この機会中、特別価格にて販売しております。

新規
・小枝茶
・お茶

・お茶
・お茶

・お茶
・お茶

・お茶
・お茶



いわきヒスイは実在
阿武隈山地に手がかり

題字は平・絶引千齋氏

先人たちが愛用した

北原 年の商業化された黒田正吉が
が出品したとき写した問題のヒスイのカ
ツオ節大珠。おそらくいわきに残つて
いる写真はこの一枚だけらしい。

撲石のままの形のものにア

玉造川と呼ばれたあたり、玉造橋の名も残っている。はるかに高倉山がみえる

アレ、シモン、しかしのもの、おのぞ
といわれる要因の一つである。
このカツオ節剣大珠は全国各地
で百個位は出土しているが、中に
は国の大宝文化財になつてゐるも
のもある。大畠で出土したこの古
は、昭和二十年代ごろ、當時平市
で開かれた文化祭に檜野さんの名
前で出品したことがある。平の松
いうことを考へてゐる。その時
は部落が何かの理由で二つに分
れると、大珠を割つて分け与
る例があるので、年代と共に小
くなることがあるのに、この場
はそつくり土の中にうずもれて
たというのも珍しい。

あけまして
おめでとう
ございます

昭和53年 元日



いわき市平・田町9
☎23-1234(大代)

